

(別紙4(2))

事業所名 グループホームアップル

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 22年 10月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	高齢と共に身体機能の低下が見られることから、低下を緩和することが必要である。冬場に向かい自由に外へ出る機会も減ってくる。	歩行や体を動かし、認知症・身体機能低下の緩和をする。	①日常的に職員とコミュニケーション(歌・回想等)をとりながら一緒に歩行する。 ②レクリーションを兼ねた運動で体を動かす機会を無理なく、楽しく行う。	5か月
2	18	入居後日も浅い方もいらっしゃる為、暮らしを共にする者同士の関係を築く為に、本人をよりいっそう理解する事が必要と想われる。	理解する事により、本人のできる事を見出し、自立支援につなげ認知症緩和に繋げる。	①日常生活のコミュニケーションの中から本人の思いや情報を引き出す。 ②回想法を実施する。 ③24時間リアルティオリエンテーションの活用	5か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。